

## 過去一緊張した 10 日間

藍住中学校 岸 実優

私はこの海外派遣事業を通じて、日本では学べないようなことをたくさん学びました。オーストラリアに行く前は、どんなところだろう、楽しみだな、と思っていましたが、いざ当日になると、不安や緊張でいっぱいでした。しかし、ホストファミリーの方々はとても優しく、英語が分からず困惑していたら、翻訳機を使って翻訳したりして、助けてくれました。

- オーストラリアの学校は日本と大きく違う部分が3つあります。
- 1つ目は、授業時間と休み時間の長さです。日本の授業時間は50分、休み時間が10分ですが、オーストラリアでは、授業時間が60分、休み時間が10分です。そしてオーストラリアでは2時間に1回、長い休み時間があることです。2時間目が終わった後の休み時間は、約20分、4時間目が終わった後の休み時間は、約15分ありました。さらに、休み時間には食事を摂ることができました。私は、この制度を日本にも取り入れてほしいと思います。
- 2つ目は、授業ごとに教室を移動することです。10分の間に次の教室にいきました。理由は、教師が各教室に移動するのではなく、生徒が各教室に移動するからです。
- 3つ目は、席が決まっていないことです。毎回色々な席に座っていました。バディの人は、友達同士で座っていました。
- また、学校以外にも、日本と大きく違う部分が5つありました。
- 1つ目は、道路についてです。道路にある信号機が日本は横にあります。オーストラリアは縦にあり、日本にも縦のものがありますが、オーストラリアの信号機は、縦2、横1の幅位で、日本より横幅が大きかったです。
- 2つ目は、スーパーマーケットについてです。スーパーマーケットには、自動ドア、飲食エリア、商品があるエリアの順にあります。飲食エリアから商品があるエリアに移動するためにゲートがあります。1人でゲートに入らなくても、2人でゲートに入ってもいいみたいです。私はスーパーで家族のお土産を買いました。
- 3つ目は、ペットショップについてです。ペットショップには犬や猫はおらず、魚だけがありました。しかし、保護エリアはありましたが、観に行ったときにはいなかったです。
- 4つ目は、家のことです。家の玄関は、網戸、ドアの順にあり、網戸は外開き、ドアは内開きにあり。網戸がある理由は、換気をするためです。オーストラリアは年中乾燥した地域なので、エアコンの代わりに換気を行うそうです。
- 5つ目は文化の違いです。日本は「和」の文化が多くありますが、オーストラリアはヨーロッパの文化が多くあります。オーストラリアは、昔ヨーロッパの植民地だったことから、オーストラリアにはヨーロッパの文化が多くあるようです。街中には、ヨーロッパの文化で作られた建物が数多くありました。

このように、私はオーストラリアで、日本では学べないような素晴らしい体験をしました。この他にもオーストラリアで色々な楽しい体験や、色々な知識を得ることが出来ました。この体験を今後、将来の夢である小学校の先生につなげていきたいです。将来は、未来の藍住町の子供達に今回の海外派遣事業で学んだオーストラリアの人や文化を伝えていきたいです。

